



2026年7月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年3月16日

上場会社名 リンカーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5131 URL https://corp.linkers.net
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加福 秀互
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 経営管理本部長 (氏名) 江頭 宏一 TEL 03 (6822) 9585
 半期報告書提出予定日 2026年3月16日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年7月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年8月1日～2026年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期中間期	644	5.9	△395	—	△395	—	△388	—
2025年7月期中間期	608	—	△279	—	△249	—	△250	—

(注) 包括利益 2026年7月期中間期 △388百万円 (—%) 2025年7月期中間期 △250百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期中間期	△28.05	—
2025年7月期中間期	△18.23	—

(注) 1. 2025年7月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2025年7月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年7月期中間期	1,679	749	44.6
2025年7月期	1,363	1,117	82.0

(参考) 自己資本 2026年7月期中間期 749百万円 2025年7月期 1,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年7月期の連結業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,658	21.9	△368	—	△356	—	△359	—	△26.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年7月期中間期	13,897,000株	2025年7月期	13,797,000株
② 期末自己株式数	2026年7月期中間期	一株	2025年7月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年7月期中間期	13,839,934株	2025年7月期中間期	13,768,195株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(重要な後発事象の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、「マッチングで世界を変える」というミッションのもと、企業と企業の出会いのあり方を見直し、従来の産業構造では成し得なかった最適な出会いを提供することで、多くのイノベーションを生み出す産業のしくみを国内外に築き、産業全体の生産性を最大化するための連携のハブとなる企業を目指すために、マッチングプラットフォームの運営を中心に事業を展開しております。

サービス内容としては、ニーズ起点のマッチングを手掛ける技術探索サービス「Linkers Sourcing」、シーズ起点のマッチングを手掛ける用途開拓サービス「Linkers Marketing」、SaaS型の金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」、及び当該事業会社向けマッチングシステム「Linkers for Business」の提供等による探索・マッチングサービスと、技術ニーズ・シーズの調査を手掛ける「Linkers Research」を中心としたリサーチサービスを主たるサービスとしております。

当社グループが取り組む事業領域においては、企業の研究開発費や新技術創出への取り組みが継続する中、製造業を中心とした設備投資には持ち直しの動きが見られ、地域金融機関においても非金利収益の拡大や取引先企業の新事業創出支援に向けた取り組みが進展しております。オープンイノベーションへの投資領域の拡大に伴い、今後もデジタル技術活用による探索効率化や、マッチング精度向上を通じた国内外の多様な企業間連携の促進により、需要は拡大していくと想定しております。

一方で、中東情勢の緊迫化をはじめとする地政学リスクの長期化、米国における通商政策の不透明感や高関税政策の動向や、金融市場における金利水準の高止まり等が企業の投資判断に慎重姿勢をもたらしており、加えて為替の変動や原材料価格の高止まりも企業収益に影響を及ぼすなど依然として不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、中長期的な業容拡大に向けた基盤構築強化を最重要課題と位置付けて様々な施策に取り組んでまいりました。

既存事業においては、顧客満足度の向上、及び継続取引拡大を目的としてカスタマーサクセス体制の強化を進めるとともに、フィールドセールス強化に向けて営業人員の採用を拡大し、案件創出力の向上に取り組みました。

さらに、将来の業容拡大を見据えて、既存事業のマッチングプラットフォームの機能強化や、新規プロダクトの開発体制整備など、戦略的投資を継続して実施いたしました。

なお、適時開示にて公表しております、2026年1月20日付「当社代表取締役社長の逮捕に関する報道について」、同年1月21日付「当社代表取締役社長の異動(辞任)について」、及び同年2月6日付「当社役員の子供の起訴及び取締役辞任についてのお知らせ」による影響につきましては、当中間連結会計期間における業績への直接的な影響は限定的であると捉えております。

以上の結果、当中間連結会計期間における経営成績は、売上高は644,298千円(前年同期比5.9%増)、営業損失は395,399千円(前年同期は営業損失279,549千円)、経常損失は395,180千円(前年同期は経常損失249,705千円)、親会社株主に帰属する中間純損失は388,145千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失250,996千円)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① ビジネスマッチング事業

「Linkers Sourcing」並びに「Linkers Marketing」は、前期より営業活動体制の改善プロジェクトを開始し、各種KPI等の見直し、プロセス管理の変更、また、営業人員の採用強化など、将来の事業拡大に向けた各種施策に取り組んだ結果、営業人員は前年同期比で10名の増加となりました。着手件数は47件(前年同期48件)と前年並みとなりました。営業人員の戦力化にはなお一定の時間を要するものの、各種施策への取り組みの成果が示現しつつあります。

金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」並びに事業会社向けマッチングシステム「Linkers for Business」からなる「LFB」は、当中間連結会計期間において新規導入はなされていないものの、累計導入機関数は50機関(前年同期46機関)となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は457,909千円(前年同期比2.4%減)、セグメント損失は380,085千円(前年同期はセグメント損失240,676千円)となりました。

② リサーチ事業

折からの生成AIの市場拡大によるリサーチサービスのコモディティ化の影響や、情報収集・要約の内製化や競合の民主化といった当社グループのサービス領域への浸食の傾向は依然として継続しているものの、当社によるフィールドセールスの支援や、より顧客ニーズの高いカスタマイズ調査へのシフト等の各種施策に取り組んだ結果、「Linkers Research」の調査件数は123件(前年同期107件)と増加に転じました。

以上の結果、当セグメントの売上高は186,389千円(前年同期比34.3%増)、セグメント損失は15,314千円

(前年同期はセグメント損失38,872千円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ316,081千円増加の1,679,756千円となりました。これは主に、有形固定資産の増加118,890千円、ソフトウェア仮勘定の増加72,872千円、投資その他の資産の増加68,475千円等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ684,327千円増加の930,247千円となりました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の増加638,836千円等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ368,245千円減少の749,509千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純損失388,145千円の計上等によるものであります。

この結果、自己資本比率は44.6%(前連結会計年度末は82.0%)となりました。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ20,197千円減少の892,321千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は317,658千円(前年同期は157,234千円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失387,059千円、減価償却費50,986千円、売上債権の減少額31,317千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は341,374千円(前年同期は57,411千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出144,128千円、敷金の差入による支出107,307千円、無形固定資産の取得による支出103,277千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は638,836千円(前年同期は4,998千円の使用)となりました。これは主に、長期借入れによる収入656,000千円等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期の業績予想につきましては、現時点では合理的な算定が困難であることから、2025年9月12日に公表いたしました連結業績予想の修正は行っておりません。今後の営業活動の進捗や事業環境の変化を踏まえ、業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに適時開示してまいります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	912,518	942,321
売掛金	144,063	112,745
仕掛品	7,424	20,149
その他	35,557	66,430
流動資産合計	1,099,564	1,141,646
固定資産		
有形固定資産	24,858	143,749
無形固定資産		
ソフトウェア	137,281	151,042
ソフトウェア仮勘定	38,586	111,459
無形固定資産合計	175,867	262,501
投資その他の資産	63,383	131,859
固定資産合計	264,110	538,109
資産合計	1,363,674	1,679,756
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	9,996	173,841
未払法人税等	5,919	4,382
賞与引当金	51,924	29,560
その他	174,728	244,121
流動負債合計	242,568	451,904
固定負債		
長期借入金	3,352	478,343
固定負債合計	3,352	478,343
負債合計	245,920	930,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	249,165	259,115
資本剰余金	991,040	1,000,990
利益剰余金	△122,450	△510,596
株主資本合計	1,117,754	749,509
純資産合計	1,117,754	749,509
負債純資産合計	1,363,674	1,679,756

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
売上高	608,143	644,298
売上原価	184,814	249,763
売上総利益	423,329	394,535
販売費及び一般管理費	702,878	789,934
営業損失(△)	△279,549	△395,399
営業外収益		
受取利息	5	77
補助金収入	30,000	—
雑収入	149	1,915
営業外収益合計	30,154	1,993
営業外費用		
支払利息	179	1,626
為替差損	132	147
営業外費用合計	311	1,774
経常損失(△)	△249,705	△395,180
特別利益		
敷金償却戻入益	—	12,345
特別利益合計	—	12,345
特別損失		
固定資産除却損	—	2,993
事務所移転費用	—	1,230
特別損失合計	—	4,223
税金等調整前中間純損失(△)	△249,705	△387,059
法人税、住民税及び事業税	1,290	1,086
法人税等合計	1,290	1,086
中間純損失(△)	△250,996	△388,145
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△250,996	△388,145

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
中間純損失(△)	△250,996	△388,145
中間包括利益	△250,996	△388,145
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△250,996	△388,145

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△249,705	△387,059
減価償却費	43,564	50,986
株式報酬費用	2,670	5,012
固定資産除却損	—	2,993
敷金償却戻入益	—	△12,345
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,310	△22,364
受取利息及び受取配当金	△5	△77
支払利息	179	1,626
売上債権の増減額(△は増加)	23,851	31,317
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14,049	△12,724
その他	48,156	28,414
小計	△162,647	△314,220
利息及び配当金の受取額	4	65
利息の支払額	△170	△924
法人税等の支払額	△1,145	△2,580
法人税等の還付額	6,724	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△157,234	△317,658
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△50,000
有形固定資産の取得による支出	—	△144,128
無形固定資産の取得による支出	△57,411	△103,277
敷金の差入による支出	—	△107,307
敷金の回収による収入	—	63,338
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57,411	△341,374
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	656,000
長期借入金の返済による支出	△4,998	△17,164
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,998	638,836
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△219,644	△20,197
現金及び現金同等物の期首残高	1,251,215	912,518
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,031,571	892,321

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計(注)
	ビジネス マッチング事業	リサーチ事業	
売上高			
外部顧客への売上高	469,323	138,820	608,143
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	469,323	138,820	608,143
セグメント損失(△)	△240,676	△38,872	△279,549

(注)セグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計(注)
	ビジネス マッチング事業	リサーチ事業	
売上高			
外部顧客への売上高	457,909	186,389	644,298
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	457,909	186,389	644,298
セグメント損失(△)	△380,085	△15,314	△395,399

(注)セグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年10月24日開催の取締役会決議に基づき、当社取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ9,950千円増加しております。

この結果、当中間連結会計期間末において、資本金が259,115千円、資本剰余金が1,000,990千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。